

リユース内視鏡およびシングルユース内視鏡に対する基本認識

当社では、2019年11月に発表した経営戦略のうち、内視鏡分野でのリーダーシップをさらに強化するための重要な戦略的取り組みとして、リユース内視鏡に加えて、シングルユース内視鏡で製品ポートフォリオを補完してまいります。

リユース内視鏡は、高度な画像処理や操作性に対する臨床上のニーズが高いことに加え、病院にとっての経済的な効率性から、今後もさまざまな手技の第一選択肢となると考えています。一方、シングルユース内視鏡は、特定の手技に関する選択肢として急速に普及しており、シングルユース内視鏡の市場は、今後2、3年の間に毎年20～40%の成長が見込まれています。

当社においてシングルユース内視鏡を導入予定(販売中)の領域(2022年9月現在)

Focus on the Customer

当社は市場や顧客からのニーズを満たすために、内視鏡のポートフォリオを強化するにあたり、シングルユース内視鏡が必要であると認識しています。

感染管理に対する要求

耐久性に対する要求

症例特有の需要
(緊急症例、ワークフロー改善)

オリンパスのゴールは、適切な内視鏡を提供し、世界中のあらゆる患者さん、手技、医療現場にとっての内視鏡医療のパートナーになることです。

シングルユース内視鏡における注力分野

十二指腸鏡・胆道鏡
(消化器科)

尿管鏡
(泌尿器科)

気管支鏡
(呼吸器科)

米国にて販売中

2021年4月、オリンパスは米国にて当社初のシングルユース気管支ビデオスコープH-SteriScopes™の販売を開始し、呼吸器分野のポートフォリオを拡大しました。

5つのモデルからなるこのシングルユース気管支ビデオスコープは、ワークフローおよび生産性を高めながら、医師が求める患者の診断、治療をサポートする高い性能を有します。



※H-SteriScopes™は、オリンパスの100%子会社であるVeran Medical Technologies社と、Hunan Vathin Medical社との提携による商品群です。日本国内では、当社によるH-SteriScopes™の取り扱いはありません。